



新型コロナウイルスを乗り越え 誰もが願う当たり前の日常へ

令和4年第1回定例会は感染症対策を引き続き行い開催されました。
令和4年度一般会計予算、各特別会計予算をはじめ、こどもの未来を育む条例など市長提出議案54件全ての議案が可決されました。

また、議員提出議案は、ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵略を強く非難する決議、介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書を全会一致で可決しました。

令和4年度一般会計予算

歳入 市税の動向は

問 市民税及び固定資産税の増額理由は。

答 個人市民税は新型コロナウイルス感染症の影響が想定よりも軽微であったことやGDP推計値が回復傾向であるので、約3億800万円の増額を見込んでいる。

法人市民税は、コロナ禍からの経済活動の再開に伴い景気回復が見込まれるので、約1億6900万円の増額

を見込んでいる。

また、固定資産税は、土地区画整理事業の市街化区域編入の他、新型コロナウイルス感染症等に係る中小事業者等の家屋と償却資産に対する特例措置の終了等により、約5億9300万円を見込んでいる。

従って、市税全体では約12億1200万円の増額を見込んでいる。

歳出 過去最大規模の予算編成

問 過去最大規模の当初予算となった理由は。

答 当初予算としては過去最大の約430億5858万円となった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、ふじみ野市将来構想の前期基本計画の実現のために、新規事業及び拡充事業を計上したためである。

また、扶助費や公債費が増額になったことも予算総額を押し上げる要因になっている。

問 新規事業及び拡充事業は。

答 市民活動や市内イベント活性化を図る主なものは、文化芸術企画提案型事業の創設の他、お

い祭り及び上福岡七夕まつりの再開記念事業への補助の拡充などである。

健康の維持・増進を図る主なものは、産婦の産後健診費用に対する補助の創設の他、ひとり親家庭医療費の自己負担金廃止に伴う予算を計上。

D・X推進を図る主なものは、外部人材の活用その他、市内保育所のICT導入に関する予算を計上した。

市民相談窓口等の体制強化を図る主なものは、重層的支援体制整備事業の創設、児童発育・発達支援センターの公設化、DV被害者の相談日の拡充などを行う。

普通建設事業の主なものは、(仮称)西地域文化施設整備工事、小学校校舎大規模改修工事、(仮称)第3庁舎建て替え工事の他、空調設備の更新、小中学校の防球ネットの整備、公共施設の耐震化工事の設計業務等を計上した。

公共施設維持管理を民間に一括委託

問 公共施設の包括管理業務委託について、債務負担行為が設定されている。その目的は。

答 専門性や優れたノウハウを有する民間事業者に対し、複数施設の点検や修繕等を一括して委託することにより、施設の維持管理水準の向上や効率的な管理を図ることが目的である。さらに、施設の予防保全や長寿命化等、公共施設マネジメントに活用できると期待している。

問 5年間の委託期間とした理由は。

答 公共施設マネジメントの着実な稼働を実施するためには、5年程度が必要であると考え。先進自治体で受託実績のある民間事業者も含め、本市が実施したサウンディング調査においても、ほぼ全ての事業者から5年

間が妥当であるとの回答があった。

問 積算根拠は。

答 5年間の総額を約17億4565万円で設定した。年平均では約3億5000万円であるが、(仮称)第3庁舎などの施設も含まれる。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)
デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

◆施政方針に対する質疑

青藍会 小高 時男 議員

日本共産党 新井 光男 議員

公明党 川畑 京子 議員

信政会 近藤 善則 議員

◆議案に対する質疑

青藍会 山田 敏夫 議員

日本共産党 塚越 洋一 議員

公明党 島田 和泉 議員

信政会 鈴木啓太郎 議員

会派外の議員 民部 佳代 議員

令和4年度 一般会計予算 430億5858万円

前年度比 15億8045万円増

収入	主なもの	支出
市税 165億7573万円 所得・土地・家屋・たばこ等に対する税 12億6287万円増 前年度比	人件費 60億5569万円 職員の給与など 1億2693万円増 前年度比	扶助費 120億9793万円 生活援助に要する経費 4億1468万円増 前年度比
地方消費税交付金 22億3400万円 消費税の市への割り当て分 9500万円増 前年度比	公債費 44億9962万円 借入れの返済 4億6264万円増 前年度比	普通建設事業費 49億8585万円 建設に関する費用 3億9700万円増 前年度比
地方交付税 39億円 国からもらうお金 4億円増 前年度比	繰入金 29億7957万円 基金からの繰り入れ 7億9665万円増 前年度比	積立金 4億7912万円 基金などに積み立てる費用 2億9023万円増 前年度比
建設等に係る事業債 31億9500万円 建設に関する借り入れ 7億4210万円増 前年度比		

(1万円未満切捨て)

緊急決議

ロシアのウクライナ侵略を許さない

市議会は市民の代表として、ロシアの侵略を決して許さないという意思を表明し、強く非難する決議を全会一致で可決しました。

ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵略を強く非難する決議

ロシアの武力による侵略は認められず、最も強い言葉で非難する。また核兵器で世界を威嚇することは、断じて許されない。日本政府は経済制裁、人道的支援、ロシア機の領空飛行禁止など、国際社会と一致した措置を取ることが重要だ。

以上、決議する。

決議日:令和4年3月11日(主意抜粋)